

地域社会とシチズン

CITIZEN OF THE YEAR

シチズン・オブ・ザ・イヤーとは？

市民社会に感動を与えた無名の人々を選び毎年その行動や活動などを讃えています。

「シチズン・オブ・ザ・イヤー」は、市民に感動を与え、市民社会の発展や幸せ・魅力づくりに貢献した市民を選び毎年顕彰する制度です。シチズン創立60周年に際し、広い視野から無名の市民を讃える賞が見られなかったことから社名の「CITIZEN(市民)」にふさわしいものとして1990年に創設されました。これまで、日本人の方はもちろん、日本で市民社会に貢献された外国人の方も顕彰し、新聞やテレビなどでも紹介されている賞です。

地域貢献

半世紀にわたり、横断歩道で登校する児童の安全を見守り続ける

1961年の小学校入学式の日、交差点で新入生が車にはねられる事故が起こったのをきっかけに、吉田さんも応援で立ち番に参加。以来毎朝交差点に立ち、児童の安全を見守り続け、今春50年を迎えた。

よしだ もりまつ
吉田 守松 さん
(愛知県在住)



自己実現

夏休みの観察・実験を通じ、「アリジゴクは排泄しない」という通説を覆す

夏休みの自由研究でアリジゴクの観察をしているとき、黄色い液体を出しているの気づく。「おしっこ」ではないかと調べたが、納得のいく答えは得られず、さらに実験と観察を続け、黄色い染みを確認した。

よしおか りょうと
吉岡 諒人 さん
(千葉県在住)



市民貢献

がんを乗り越え、自らの落語で同じ病の患者とその家族を励まし続け10年

がんを患い、術後5年の節目が過ぎたとき、支え励ましてくれた患者仲間とその家族を招いて落語の独演会を開く。以後、「いのちに感謝の独演会」として続けられ、毎年、新作の創作落語で、希望と勇気を与え続けている。

ひぐち つよし
樋口 強 さん
(千葉県在住)



環境ワークショップへの支援

シチズンホールディングス
西東京市にある東京大学田無試験地で開催された「森のアート海のゲイジツツ」〜昆虫たちの小宇宙へようこそ〜(主催:ワンダーアートプロダクション)へ協賛しました。



タオル帽子講習会

シチズン東北では、2009年度シチズン・オブ・ザ・イヤー受賞者吉島美樹子さんを迎えて「タオル帽子講習会」を行いました。39名が参加し、心を込めてタオル帽子をつくり、後日、岩手県立中部病院緩和ケア科へタオル帽子52枚を寄付しました。



実業団卓球部による講習会

創部45年を迎える伝統と高い実力を誇るシチズンホールディングス卓球部は、全国各地で卓球講習会を行っています。2010年度は、全国各地で19回実施し1,796名の方に参加していただきました。



ものづくり教室

シチズンホールディングスでは西東京市の小学生親子41名を対象に「ジュニアものづくり教室」を開催しました。2009年厚生労働大臣表彰「現代の名工」に認定されたシチズン平和時計の従業員を講師とし、時計組み立てを体験されました。



教育機関への出前授業

シチズン東北では、北上川流域のものづくりネットワーク主催の各種学校への出前授業に積極的に参加しています。若手、中堅社員などが「学生が今知りたいことは何か」を考え、自分の体験談をもとにそれぞれの要望に合った授業を行っています。



生物多様性の保全

シチズンファインテックミヨタ北御牧事業所では、絶滅危惧1類に指定されているオオルリシジミ蝶の保護活動を2003年より行っていません。敷地内に生息する食草「クララ」の保護、増殖等により自然繁殖が確認されています。



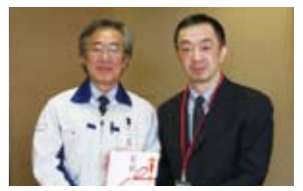
児童養護施設退所者へ腕時計寄贈

シチズンボランティアクラブでは、従業員の所持する未使用または中古腕時計を収集し、シチズンカスタマーサービスのメンテナンスを経て、NPO法人ブリッジフォースマイルへ計69本を寄贈しました。



ろうあ者卓球協会へ協賛

シチズンホールディングスは、2007年よりろうあ者卓球協会を支援しています。また、シチズン・システムズは第33回全国ろうあ者卓球大会へ自社製品の検温状態を振動で知らせる体温計を寄贈しました。



職場体験学習の実施

シチズングループ各社は、工場見学や中学生の職場体験学習・インターンシップを積極的に受け入れています。シチズン東北では、2010年3月までに48団体1,545名の方に参加していただきました。



信州匠検定講師派遣

機械式腕時計の修理技能向上を目的に長野県時計宝飾眼鏡商業協同組合、メーカー、長野県で開催している信州匠検定講習会に、時計修理士2級取得者であるシチズン平和時計の従業員2名が3級検定の指導を行っています。



「そらべあ×シチズン」共同で太陽光発電設備を寄贈

シチズン時計では、光発電エコドライブ製品の売上金の一部を「そらべあ基金」に寄付し、全国の幼稚園もしくは保育園に太陽光発電設備を共同で寄贈する活動に取り組んでいます。2010年度は、3基の太陽光発電設備を寄贈しました。

